



あすなろ

2019年2月 No.3
あすなろ担当
宿毛・大月・三原ブロック
(宿毛・東グループ作成)

3学期が始まってあっという間に1月が終わり、2月ももう半ば。本年度も残りわずかとなりました。全国的にインフルエンザが猛威を振るっています。体調管理に気を付けて、年度末を乗り切りましょう。

おめでとうございます

土佐の教育功績表彰を、四万十市学校事務支援室 事務長 さんが受賞されました。コメントをいただきましたのでご紹介します。

みなさまへ

今回受賞させていただいた際に多くの方々から心温まるお祝いの言葉をいただき深く感謝しています。思い出せば昭和52年4月に採用となり、最初の3年間は全く仕事ができなくて今でも迷惑をかけたと申し訳なく思っています。あれから42年徐々に仕事を覚え任されたことができるようになり、少しずつ自信を付けながら働いてきました。

今思うと自分が前向きに仕事に取り組めるようになったのは、人に恵まれたことだと感じています。学校の管理職・同僚、事務職員の皆様に多くのことを教えられ支えていただきました。その中で学校の役に立ちたい、事務職員として周りの方に認めてもらいたいという思いを持てたことが今回の受賞に繋がったと思います。

みなさんの周りにも必ず温かい眼差しで見えてくれる方や支えてくれる方がいます。それを自分の強みに変えて、向上心を持ち様々な事にチャレンジして、今の私たち以上に評価される事務職員になってくれることを心から願っています。

【追伸】私は毎年元旦に手帳へ今年のコピーを書きます。みなさんもやってみると何となくやる気が湧いてきますよ！

17年『今年も前向きに』・18年『まとめ・繋ぐ』・19年『初心にかえる』

四万十市学校事務支援室 (中村南小学校) 事務長

土佐清水市より

来年度より、土佐清水市にも事務支援室が設置されます。設置までの流れを土佐清水支部にお伺いしました。

平成31年度より、清水中学校に共同学校事務室を設置する予定です。始まってみたいとわからないことだらけですが、話し合った内容をお知らせします。皆様方からのサポートやアドバイスなどのご支援をお待ちしています。よろしくお願いします。

1. 土佐清水市の学校の状況と課題

- ・ 小規模校が多い。将来的には学校の統廃合が進み、スクールバス等新たな業務ができる。
- ・ 現金会計が多い。

2. なぜ共同学校事務室が必要か

学校事務の共同実施が始まり6年目となった。事務職員が力を合わせて土佐清水市全体の学校事務に取り組んでいる。準公金取扱規程や備品管理規程の作成、指導要録の一括作成等、一定の成果がある。

しかし、現状の総括主任1名と各校1名配置では限界があり、教育活動への支援まで行き届かない。

今年度は臨時職も含めて事務職員が全校配置となっている。しかし、近い将来子どもの数の減少に伴い、確実に事務職員の引き上げがある。数年後、事務職員の配置が見込めるのは清水小学校と清水中学校だけである。清水小学校と清水中学校の事務職員が市全体の学校支援をすることになり、十分な支援ができないことが予想される。

市全体の学校事務に関する企画・調整を一元的に行うことができる組織体制が必要であり、適正な組織運営のためには、一定の職務上の権限を有し、共同実施を総括する職が必要。

3. 経営理念

ジョン万スピリットを持って土佐清水市の児童生徒の未来をきり拓く

4. 経営方針

- ・ 教員が教育活動に専念できる体制づくりを整える。
- ・ 学校運営全般に寄与する学校事務職員の職能力成長を促進する。
- ・ 学校の規模や実態に応じた物的・精神的に豊かな環境の学校をつくる。
- ・ 教育委員会・学校・共同学校事務室・共同実施組織の連携の中心となる活動を行う。

5. 共同学校事務室ができると今よりどんなことができる？(確定ではない)

- ・ 臨機応変な事務支援
- ・ 中体連・小体連会計
- ・ 市P連会計
- ・ 市予算の有効活用(備品購入のとりまとめ等)
- ・ 社会科見学の連絡調整
- ・ スクールバス連絡調整
- ・ 市内の研修会・担当者会の調整
- ・ へき地複式校会計、図書館協議会会計、教育文化展会計
- ・ 小学校連合修学旅行の事務局
- ・ 防災支援
- ・ 休校予定の学校の事務支援
- ・ パソコンヘルプサポート



はたっぴ〜れぽ〜と



平成30年12月14日（金）

研究集録の分担確認および全事研の発表概要確認

今年度の研究集録「あすなろ13号」についての確認を行いました。各市町村の原稿〆切は3月1日（金）となっていますので、よろしくお願いします。

また、2019年度の「全国公立小中学校事務研究大会」の分科会で幡多地区研究部会が発表することが決定しました。ポスターセッションという手法で発表することになります。発表概要についての意見交換では、研究部長にリードしてもらい、研究部会を立ち上げた当時の思いや、どんな学びをしてきたのかなど沢山の意見がでました。

★情報交換

【四万十市】

- ・出勤簿の日数計算を11月から廃止。
- ・第2回文書管理プロジェクトの会を開催し、受付文書の方法・廃棄の効率化等について話し合った。
- ・部活動関係作成ツールを1月に各市町村へ配布予定。（幡多地区以外でも広がっている。）

【黒潮町】

- ・業務改善検討会で様式の改善について検討中。
- ・郡内の2年次研修を入野小学校で「財務」をテーマに実施した。

【宿毛市】

- ・私有車公務使用届の様式の見直し中。
- ・校務支援システムについて検討中。

【土佐清水市】

- ・サバ手帳の修正完了。財務の部分を追加した。
- ・フォルダツリーを検討中。

【三原村】

- ・予算要求が始まった。
- ・ブロック塀の撤去が始まった。



研究部会は共同実施と違い、市町村を越えた交流ができます。各市町村の動きを把握できるだけでなく、最新の教育に関する情報を得ることが出来たりします。また、事務職員としての姿勢など、先輩方の背中を見ながら沢山の気づきや学びを吸収できる場所ですよ。気になる方はいつでもどうぞ！大歓迎です♪